INTERVIEW

受け継がれてゆく復興への演奏

御船中学校
吹奏楽部顧問
やまもと　たかかず
山本　貴一 先生

熊本地震の際、自分たちも苦しいはずなのに、町を元気づけようと演奏する生徒たちの姿を見て、「御船町にもきっと心の復興はやってくる！」と感じました。現に、生徒たちは卒業した後も音楽を続け、それぞれの場所で地域に元気を届けています。中学生の後輩たちも先輩たちの意志を受け継いで、演奏に励んでいます。あの時、みんなで共有した「故郷のために」という思いをこれからも大切にして、自信を持って前に進んでほしいと思います。

震災当時の心境 ～演奏への思い

（本田）いつもお世話になっている人に演奏で恩返しができるよう、そしてこんな時だからこそ、音楽でみんなを元気づけたい。その一心でした。

（宮本）被災された方の心のケアをする方法が私たちには〝音楽〟しかありませんでした。自分たちにできることを考え、演奏する方も聴いてくれる方たちにも分かり合えるそんな音楽を演奏したいと思いました。

（藤川）音楽の力はすごいと思っています。その力で被災された方に思いを伝えられるように演奏しました。演奏中は、地震の出来事などを思い出して涙が止まりませんでしたが、御船町のみんなで頑張ろうという思いも込めて演奏しました。

震災後の変化

（本田）ボランティア演奏を経験したことで、聴いてくれるお客さんの気持ちも分かるようになりました。高校でも各地で復興コンサートをよく行いますが、どんな時でも、地元の御船のことを想いながら演奏しています。

（宮本）熊本地震前までの演奏は、お客さんの顔を見て演奏することができませんでした。しかし、ボランティア演奏を通じて、聴いている人が演奏をどう感じているのか、どんな表情で聴いているのかを気にするようになり、お客さんの顔を見て、自分も楽しんで演奏しようと思えるようになりました。

（藤川）震災があってから土木関係の仕事に就きたいと思い、熊本工業高等学校の土木科に進学しました。また中学校時代のボランティア演奏を経験したことで、高校でもたくさんの人たちに復興への思いを届けるために吹奏楽を続けました。

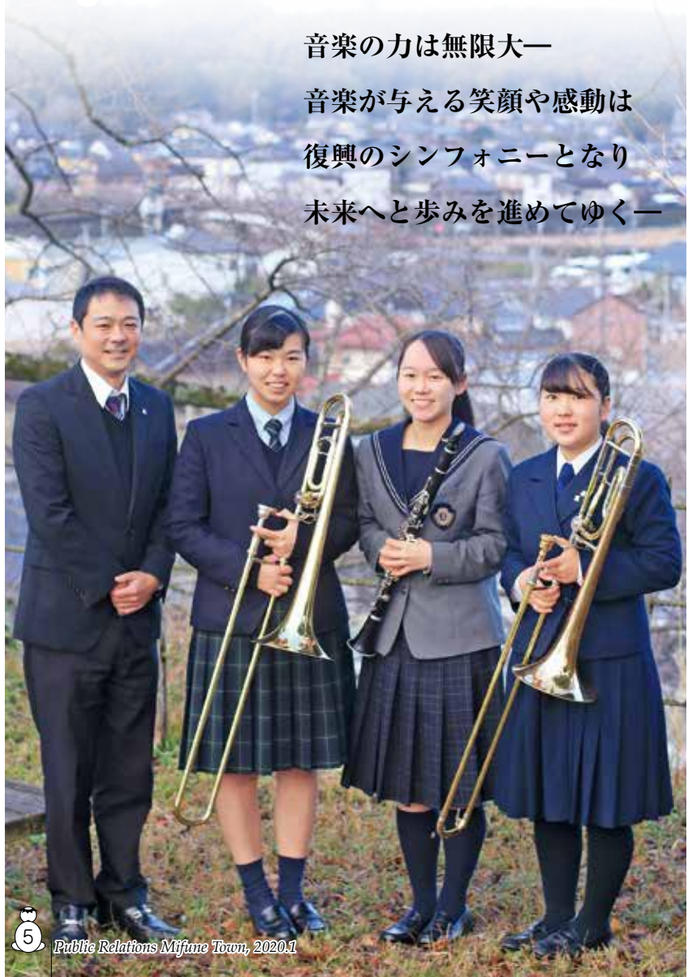
そしてこれから

（本田）春からは専門学校に進学しますが、今後も音楽に携わり、中学校や高校に教えに行きたいです。

（宮本）高校では、音楽に対する考えを教わったりと、自分で学ぶところが多かったので大学に進学することで、もっと音楽を勉強したいです。そして将来は音楽の先生になりたいです。

（藤川）就職が決まり春から社会人になりますが、これからも後輩たちのもとを訪れ、母校にも足を運べればと思います。その中で、少しでもアドバイスできるところがあれば、全力で応援したいです。

「音楽の力は無限大」と話す彼女たちは、これからも音楽の可能性を信じて、復興へのメロディーを奏でてゆく―。

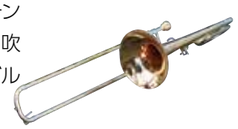


▲第１回目のボランティア演奏会
“ふるさと”“365日の紙飛行機”などを演奏

ほんだ　さやか
本田　爽夏（御船）

Profile―Sayaka Honda ／御船中学校吹奏楽部に入部。御船中学校卒業後、玉名女子高等学校に入学し、吹奏楽部に入部・３年生／担当はトロンボーン（歴９年）

昨年の第32回全日本マーチングコンテストと第67回全日本吹奏楽コンクールで金賞のダブル受賞。



みやもと　ふわ
宮本　風葉（木倉）

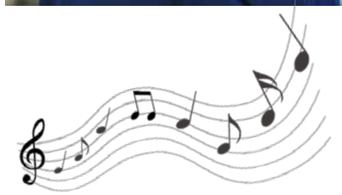
Profile―Fuwa Miyamoto ／御船中学校吹奏楽部に入部。御船中学校卒業後、福岡県精華女子高等学校に入学し、吹奏楽部に入部・３年生／担当はクラリネット（歴６年）

昨年の第32回全日本マーチングコンテストでは、金賞を受賞。

ふじかわ　ゆま
藤川　優芙（滝尾）

Profile―Yuma Fujikawa ／御船中学校吹奏楽部に入部。御船中学校卒業後、熊本工業高等学校に入学し、吹奏楽部に入部・３年生／担当はトロンボーン（歴３年）

昨年の第32回全日本マーチングコンテストでは、銀賞を受賞。



紹介する３人は御船中学校の吹奏楽部出身で、昨年開催された吹奏楽の甲子園と言われる全日本マーチングコンテスト、全日本吹奏楽コンクールにそれぞれ出場し、輝かしい成績を残す。

彼女たちが熊本地震後に初めて行ったボランティア演奏を振り返り、そして音楽への思いを語る―。

Topix Ⅰ　復興への演奏

全国大会で活躍する御船の演奏者たち

ボランティア演奏会のはじまり

平成28年４月熊本地震が発生。御船中学校の体育館は、避難所に指定されていたため、多くの人たちが避難していた。そこには当時３年生で吹奏楽部副部長を務めていた藤川さんも避難していた。震災で疲れている人や元気がない人を見て「避難所で演奏して、音楽で町の人たちを元気づけたい」という思いが日に日に強くなっていた。この思いを顧問の山本先生や他の部員にも伝え、実現したのが地震発生から２週間後の４月29日に行われた第１回目のボランティア演奏会。この演奏会は、今も後輩たちへと引き継がれており、復興への原点となっている。